



通信 創刊号

平成16年5月31日

< 記事一覧 >

1. APLA通信の発刊にあたって (会長 太田貴代子)
2. 第2回定期総会のご報告 (事務局長 蜂須賀英博)
3. 各ブロックからの情報発信
 - ① あいち防災リーダー会「こうなん」ニュース (江南市 望月晴夫)
 - ② 平成16年度木曾三川連合水防演習・愛知県総合防災訓練 (尾西市 伊藤善之)
 - ③ 海部ブロックのリーダー等による自主防災啓発活動 (海部郡 百合草五男)
 - ④ 高校生と防災活動記録 (岡崎市 太田貴代子)
 - ⑤ 知多ブロックの活動について (東海市 保坂松男)
 - ⑥ 知多ブロック阿久比地区の小さな動き (阿久比町 杉浦美智子)
 - ⑦ 向こう三軒両隣の力「自主防災組織について」 (半田市 廣江廣江好矩)
半田市柘三東町の自主防災組織再結成の取り組み
4. 防災よもやま話 最近の国・県・市の防災施策の動向 (名古屋大学 福和 伸夫)

.....広報たより.....

この度、愛知県防災局防災課にお世話になっています「ニュースレター」とは別に、当会オリジナルの「APLA通信」をつくることにしました。

広域で活躍されている当会員の情報伝達の一助になればと思います。年6回発信を目標に、編集は各ブロック広報部が持ち回りで担当させていただきます。

内容は、あくまでも皆様からの提供される情報です、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- | | |
|-------------|-----------|
| 平成16年5月末発信 | 知多ブロック広報 |
| 平成16年7月末発信 | 海部ブロック広報 |
| 平成16年9月末発信 | 西三河ブロック広報 |
| 平成16年11月末発信 | 名古屋ブロック広報 |
| 平成16年1月末発信 | 東三河ブロック広報 |
| 平成16年3月末発信 | 尾張ブロック広報 |

<p>今回の編集担当は、半田市の佐々木です。 次号は、海部郡の百合草さんです。</p>



連絡その1 先日の総会でのイランへFMラジオを送るための義援金たくさんあつまりました。
ご協力ありがとうございました。

連絡その2 メーリングリストの再整備中です。詳しいご案内は次号にていたします。

APLA通信の発刊にあたって

会長 太田 貴代子

1. 発刊の主旨

この APAL 通信はあいち防災リーダー会、会員の通信機関誌です。ニュースレターは県防災課が年4回発行の紙面と記事の制約もありましたが、あいち防災リーダー会の会員相互の情報交換や地域活動の実施等を、定期的、随時に会員が地域で活動している情報により、会員の地域での活動等に対するの広報をする。



2. APLA通信への期待

地域、地域での活動はさまざまです、「活動している会員」、「準備中の会員等」にとって、地域活動の情報や運営に関する情報が役立つと思います。

気楽な投稿ができる交流機関紙として、また、地域活動や運営に対するの相談窓口としての活用が出来ることを期待しています。

尚、当会参与の福和先生にも連載記事を投稿していただきました。会員にとって必見です、是非お役立てください。

第2回定期総会のご報告

4月25日(日)12時30分よりスキルアップ研修会、15時より17時まで定期総会という日程で岡崎市福祉会館の6階ホールにおいて開催いたしました。

スキルアップ研修会は、「あいち防災リーダーが1年間どんな活動をしてきたか?」というサブタイトルを掲げ、「大地震防災とリスクマネジメント」と題した田原市の彦坂高司さんの講演、「小学校の防災活動」と題した知多郡東浦町の磯村美智子さんの美浜町立布土小学校での防災活動への協力の報告、「春日井市防災・防犯街づくり」と題した春日井市の村島忠彦さんの、春日井市安全安心まちづくりポニターとしての活動報告がありました。皆さん、パワーポイントを駆使しての大変わかりやすいお話で大変好評でした。

他の市町村においても「あいち防災リーダー」がいろいろな啓発活動等をしてきたことは、一部ニュースレターでも紹介してまいりましたが、総会を期に皆さんから報告を出していただき、ひとつにまとめて皆さんに紹介することができればよかったなと後悔しております。いまからでも遅くは無いので、是非昨年度の皆さんの活動のまとめを事務局まで提出していただき、初年度の「あいち防災リーダーの活動報告」を作り上げたいと思いますのでご協力をお願いいたします。



総会は、会員総数 308 名の内 97 名の出席者、142 名の委任状をもって成立いたしました。愛知県防災局長様、防災課長様、岡崎市長様他のご臨席を賜り、防災局長様、岡崎市長様には、ねぎらいと励ましのお言葉を頂戴しました。議事につきましては、予想通り活発な意見をいただき、皆様の思いの強さを感じることができました。ただ、議長が提案して答弁するというような議事進行上の問題点は、今後の課題として改善していかなければならないと感じました。

また、ご指摘いただきました会則の改正につきましては、一字一句にこだわりすぎて本来の目的がぼやけてしまわないように気をつけて総務委員会で慎重に審議しまして、皆様にご提案させていただきますのでよろしくお願いいたします。

一部の人に負担がかかってしまうような会の運営の仕方は早急に改善して、より有意義な活動のできる会に創りあげてゆく為に皆様のご協力をお願いいたします。(事務局長)



蜂須賀 博英 (はちすか ひろひで)

1956年生まれ

趣味 ボランティア活動?

愛犬との散歩

仕事 某社の工務作業員

特技? レクリエーションリーダー養成講座修了

青少年指導者養成講座修了

信条 何事も引き受けた以上は、一生懸命やる。

あいち防災リーダー会「こうなん」ニュース

江南市 望月晴夫

あいち防災リーダーの第2期生の誕生するのを待って総勢6名で、みだしの「リーダー会こうなん」を立ち上げましたのでどうぞよろしく。

メンバーは、尾崎、望月、細川、住藤、今井、野口 です。

防災意識の向上・普及を図るには、樋口美紗さんが歌ってくれる「仲良しお隣さん」互助の心を育てる防災の歌を、一人でも多くの方に歌って、知ってもらって、減災をと言うことで行った事例をご紹介します。

事例紹介

① 2月13日 江南市赤十字奉仕団主催の防災講演会で開演前にこの歌を場内に流していただきました。(参加者は役400名)

② 3月12日 NHKラジオ第1 古里あさいちレポートで、浅いレポーターがこの歌を



全国放送で紹介。その反響は大きく、当日29件の問い合わせの電話が飛び込み、その対応にてんてこ舞いでした。

北は北海道、南は九州、四国とその歌のCDを送って欲しい、愛媛県の日赤奉仕段委員長さんからは、「いろいろな人・大学の先生の防災講演会を聞くけれど、その講演の内容がこの歌に凝縮されている」と長いお礼のお手紙を頂きました。うれしいことです。

防衛庁とかで、防災に関する映画を制作している会社の監督さんから、制作中の防災関係映画で、この歌を取り上げてくださるとのことで、4月26日にわざわざ埼玉県から、監督、カメラマン、スタッフ一行が撮影に来てくれました。この映画は6月なかばに完成して、全国の官公庁、図書館等に配布されるとのことです。是非ご覧ください。

③5月2日～5月5日まで、一宮リバーサイドフェスティバル防災コーナー（一宮消防署、あいち防災リーダー会いちのみや）が開かれました。

防災パンフレットを配布、防災パネル・ぶるる君の説明には、アートバルーンで動物を作り提供したこともあり、子供たちの視線がこのコーナーに向けられ、お父さんお母さんと一緒に立ち寄って多賑わいでした。効果バツグン皆様も是非やってみてください。

5月3日には、防災に歌「仲良しお隣さん」の樋口美紗さんと当会の3名（尾関、今井、望月）で啓発活動に参加しました。

みなさんも今年の防災訓練などにも、この防災の歌「仲良しお隣さん」を是非活用してください。この歌の振り付けを太田会長さんが進めていりとのこと。出来上がるのを楽しみにしています。

防災の歌「仲良しお隣さん」についてのお問い合わせは、あいち防災リーダー会いちのみや倉治会長（電話 0586-73-6232）

平成16年度木曾三川連合水防演習・愛知県総合防災訓練

尾西市 伊藤善之

5月23日に尾西市富田の木曾川左岸河川敷で国土交通省、愛知県、岐阜県、三重県、尾西市の主催で、約1600名が参加して行われました。

ヘリコプターや救助船などを使用した各種水防・救助訓練の中、約250名のあいち防災リーダーを含むボランティアや一般参加によるボランティア訓練も実施された。主な訓練内容として、仮設トイレ・テントの設営、簡易担架組立て、ロープワーク、障害者介助訓練（歩行障害・視覚障害・聴覚障害）等があり、各自がそれぞれ2～3の訓練に参加しました。いずれも発災時にはかなり約に立つ訓練でした。

海部ブロックのリーダー等による自主防災啓発活動

海部郡 百合草 五男

海部ブロックのリーダー等による自主防災啓発活動。

3月27(土)・28(日)日、海部ブロック防災リーダー会会員3名と防災カレッジ・VC修了者・3名にて海部郡弥富町かおるが丘団地で、団地住民約20名を対象に防災グッズ(簡易ローソク・コンロ・ろ過器)・ハイゼックス包装食作成(1日目)・DIG(図上訓練・2日目)を行いました。

今回はリーダー会会員の居住する団地にて自主防災活動を行ったわけですが、これが海部ブロック全体に普及することを願いました。また、防災グッズについては作成見本等がありますので、各ブロック各位も気軽に問い合わせ下さい。



1日目(防災グッズ作成)



2日目(DIG・図上訓練)

高校生と防災活動記録

太田貴代子

防災関係の所属団体

あいち防災リーダー会

会長

岡崎市赤十字奉仕団

委員長

災害ボランティア・おかざき

副会長、企画、講師

NPO21世紀を創る・みかわ

副会長

AWD/NTの会

監査

□ 県立岡崎商業高校

15年3月15日(土) AM1:00~16:00

「大規模地震がきたら、あなたはどうしますか？」

主催 岡崎市ボランティアレンラク協議会

会場 岡崎市福祉会館



講師 鈴木盈宏、太田貴代子 (災害ボランティア・おかざき)
参加者 60名
佐々木先生他1名 2名 参加

ボランティア部 講座日程

担当 佐々木先生

企画・コーディネイター あいち防災リーダー会・おかざき 太田貴代子
岡崎商業高校 社会科室

15年7月9日(水) 講座開講 pm13:25~15:15 2単位 ボランティアについて

講師 鈴木盈宏

OHPを使って阪神淡路震災におけるボランティア体験、東海豪雨等における
ボランティアを通しての体験と被災者への心使い
ボランティアとは

15年9月10日(水) pm13:25~15:15 2単位

地震と防災

講師 岡崎市消防署職員 柴田泰文 あいち防災リーダー会・おかざき
起震車体験 校内に起震車を設置しての体験をする

15年9月17日(水) pm13:25~15:15 2単位

高校生時に阪神での震災体験をとうしてのボランティア

講師 山本竜輔 あいち防災リーダー会

15年9月17日(水) pm13:25~15:15 2単位

救助犬の訓練と活動をとうして

講師 特定非営利活動法人 愛知災害救助犬協会 理事長 野口英美子

15年12月10日(水)

災害時の食料

講師 太田貴代子 岡崎市赤十字奉仕団委員長 あいち防災リーダー会

15年12月17日(水) pm13:25~15:15 2単位

まとめ

講師 石川貢愛知県青少年赤十字

国際人道法 赤十字の7原則

赤十字とボランティアについて

10月25日~26日 AM9:00~17:00

城下町フェスタ岡崎市籠田公園内

主催 岡崎市、岡崎商工会議所

「地震3兄弟 あなたはどうしますか？」



あいち防災リーダー会、岡崎市赤十字奉仕団

テント1張り パネル展示、非常食の試食及び販売、

防災クイズ、大人、子供用 各500枚

ボランティア協力

生徒10名参加 防災クイズ、ロープワーク、マスコット製作担当

□ 県立岡崎西高校

災害ボランティアコーディネーター養成講座

15年5月～9月 5回 AM10:00～16:00

主催 岡崎市福祉協議会

会場 岡崎市福祉会館

講師 鈴木盈宏、太田貴代子（災害ボランティア・おかざき）

受講者 90名

5月24日（日）

6月28日（日）

佐口先生 他1名

7月5日（日）

生徒2名 計4名受講

8月23日（日）

9月27日（日）

15年9月1日 AM9:00～12:00

岡崎市総合防災訓練 岡崎市菅生川河川敷

災害ボランティア支援本部 設置

ボランティアとして生徒20名先生2名参加

土のうづくり男子生徒18名

岡崎市赤十字奉仕団炊き出し訓練に女子生徒2名参加

15年9月19日 AM9:00～14:00

西高校が学園祭に参加

あいち防災リーダー会・おかざき

ロープワーク

岡崎市赤十字奉仕団

炊き出し

赤十字活動パネル展示

愛知県災害救助犬協会

パネル展示

災害救助犬



□ 私学際

岡崎城西高校

15年11月9日（日）AM9:00～16:00



西三河、岡崎市、額田郡私学会 学園祭に参加

あいち防災リーダー会・おかげ

防災クイズ 大人、子供、高校生用作成

パネル展示

非常食展示

ロープワーク

□ 県立北高校

放送部御との防災についての放送録音

15年3月30日 防災ふえすた防災 PL 活動の録音取り
岡崎公園

15年4月10日 防災フェーラム・刈谷に 部員 参加

15年4月25日 自宅での録音

15年5月6日 自宅での録音

NHK 高校放送大会全国大会に出場

知多ブロックの活動について

あいち防災リーダー会知多ブロック

代表 保坂松男

よちよち歩きの1年でありましたが4月の阿久比町での総会を得て、新たに15年度の修了生を迎え2年目に向けて出発を致しました。

昨年を振り返って見て暗中模索という言葉どうり早足で駆け抜けてきた1年でありました。

この1年の中で、それぞれの人々との触れ合いの中、力を合わせて県内でも、いち早く組織の基礎を築き1歩が踏み出すことが出来ました事を大変嬉し思っております。

またこの1年は防災リーダーとしての出会いの中から、お互いの信頼感が生まれ秩序が築かれて来た年であったとも思います

まだまだ小さな基礎ではありますが、日々の怠りない研鑽を重ねて行き、確りした礎としての専門集団として知多での防災に対する啓発活動の発信基地に成りうるよう頑張っていきたいと思っております。

これからも防災リーダーという志を同じくする集まりの中で、その連帯感を更に強く大切にしていきたいと願っております。

力を合わせ地域のために、頑張っていきたいと思います。

知多ブロック阿久比地区の小さな動き

知多半島のほぼ中央に位置する阿久比町は 静かな田園都市といったところでしょうか。

最近では田園都市といってもご多分に洩れず 専業農家がかたんと姿を消し サラリーマンが増え、名古屋まで約30分と言う便利の良さもあり、マンションが1棟、2棟と建ち始めたこのごろです。



阿久比町 杉浦美智子

この阿久比に防災リーダーが5人います。一期生の3人はカレッジ卒業後 それぞれの立場で自分のやれることに専念してきました。そして、2期生の二人が加わり5人になったところで “何かを始めよう！”と集まりを持ち始めたころ タイミングよく町の防災課より 町内の自主防災会を対象に地震対策研修会を開催するに当たり 講師依頼があり、5月29日から8月21日まで5回の講座が開かれることになり 我々5人が1講座ずつ担当することになりました。

【どんな講座になるやら…ハラハラドキドキ…】という心境です（これは私だけかも）

また、5月号の町報に 私たち5人の顔写真入りで 防災リーダーについて 紹介をしていただきましたので、少しはPR出来たのではないかと思います。

ほんの小さな動きではありますが これからも地元の皆さんと 防災=減災を考えて勉強していきたいと思っています。

それには情報が必要ですので このAPLA通信を活用したいと考えています。

あいち防災リーダー会の皆様 沢山の情報をお寄せください。



向う三軒両隣の力「自主防災組織について」

半田市終三東町の自主防災組織再結成の取り組み



半田市 廣江好矩

1. 阪神・淡路大震災から教えられる事実（共助の必要性）

1-1. 兵庫県死亡者数の推移（発表ベース）

1-2. 北淡町の現実

月/日	死亡人数	月/日	死亡人数	年月日	時刻	事項
H7.1/18	1,675	1/20	4,038	H7.1.17	5/46	地震発生
1/24	5,040	2/1	5,087		6/30	救出体制確立
2/4	5,229	2/12	5,302		13/頃	救出完了（300人）
2/20	5,394	4/1	5,478		15/頃	全員の安否確認完了
H8.12/26	6,394	最終	6,433			死者；39，重傷；58

兵庫県推定人口；約550万人

全壊家屋；10万4,906棟

焼失家屋；7,483棟

町内；6地区，3,620世帯・

人口；約11,000人

全・半壊家屋；2,323世帯

1-2. 地区別の全壊割合と死者の割合

地区名	全壊率	全壊家屋数	死者の割合	死者の人数
北淡町	30%	1,016	3.8%	39
神戸市	13%	67,421	6.8%	4,569
芦屋市	30%	4,722	9.4%	443

1-3. 救出された人の救出要因

要救出者；約35,000人

* 自分・家族・地域住民による：27,000人（77%）・・・内80%が生存

* 自衛隊・消防隊等による：7,900人（23%）・・・内半数以上が遺体

1-4. 救出日と生存率

救出日	N=35,000	救出日	芦屋の例	N=120
当日	69%	当日	60/81	74.1%
2日目	24%	2日目	5/22	22.7%
3日目	12%	3日目	0/17	0%
4日目	7%			
5日目	4%			

2. 自主防災組織の在り方

“先ず 自助＝自分並びに家族が無事息災である事”

この前提に立って、共助の在り方を考える。

2-1. 現在の自主防災組織

- ① 各区の役員・町内会長が、自主防災組織の各任務を兼務している。(1～2年交替)
- ② 祭礼関係者・地域の顔役・消防団のOB等が、区内を統括している。
- ③ ボランティアグループ(各種ボランティア団体)に、任せられている。
- ④ その他

問 題

- ① 広い区内で、イザ！と言う時に、細かい対応が出来ない。
- ② 任期が1年交替なので、役目に対しての認識が希薄になる。
- ③ 地域消防団は、火災が多発した場合、対応が難しく、他の救助が後回しになる。
- ④ 高齢者の集まりでは、イザ！と言う時に、要救助者になる危険がある。
- ⑤ ボランティアグループは、自分の地域のみではなく、本部指示により他地域へ出かけることなる可能性がある。

2-2. 自主防災組織の見直し

活きた自主防災組織の在り方。

- ① 災害発生時、自分並びに家族が無事息災である様、日常の備えがしてある事。
- ② 災害発生時、自分の地域の事を熟知し、要救助者の救助、初期消火等に、即座に対応出来る事。
- ③ 互いが顔見知りで、災害発生時に、災害弱者(要介護者)への対応が、即座に出来る事。
- ④ 災害発生時、即座に使用出来る様、救出用具、消火用具等を常時維持管理出来る事。
- ⑤ 災害発生時、地域の特性に合った行動が、即座に取れる事。

このような条件に合った自主防災組織は、少なくとも町単位又は隣合った複数の町が併合した、地域単位の組織を結成しなくては、イザ！と言う時に役に立たないと思います。

3. 自主防災組織結成の実施例

3-1. 自主防災組織結成のポイント

(1) 既存自治組織等の活用

- * 区長・顔役のやる気；組織改革の必要性の理解とやる気、及び町内会への意志の公開。



- * 町内会長・ブロック長のやる気；自分の地域から不幸な人は出さない信念と、町内への意志の公開。
- * 行政・地域消防団の応援；地域の自治区への指導と、支援。
- * 防災リーダー等の活用；各地域の防災リーダー等、防災に関する知識の有る人材を、スタッフとして活用する。

(2) 自主防災組織結成の取り組み

① 川のぼり方式（岩滑区方式）

区で再結成検討委員会を持って、区の方角付けと結成要領を決めて、区内の各地域に一斉に組織再結成を呼びかける。・・・各地域共同一組織内容

② 川くだり方式（住吉区方式）

区の方針に従って、各地域単位で新たに結成して、区本部の再結成に結びつける。・・・その地域に合った組織が最初から結成出来る。

3-2. 自主防災組織の結成と活動手順

(1) 自主防災結成単位の検討

町単位，ブロック単位，隣接町との関係等、日常自治会活動との関係で、動き易い型を検討する。

(2) 住民への自主防災組織の必要性の説明と理解

- ① 自分並びに家族の安全確保対策（自助の大切さ）
- ② 向う三軒両隣の力（共助の力）；兵庫県南部地震の尊い命が、教えてくれた事

(3) 地域の特性分析

地形，人口密度，水源の有無，公共施設，企業と職種，区防災設備の有無と遠近，避難所・避難場所の有無と遠近，道路網，要介助者の有無（幼稚園・介護施設等）過去の浸水実績等を分析し、その地域の特性（防災上の良い点・悪い点）を解明する。

(4) 地域（自主防災結成単位）の被害を少なくする為に、必要な組織の検討

情報，消火，救助，救出，避難，誘導，介助，給水，給食，水防，自警，等

(5) 区本部組織と地域防災組織の編成

① 区本部組織の構成と運営要領

② 地域防災組織の構成と運営要領

- 検討事項； a. 全世帯参加型 b. 希望者（有志）参加型
c. 地域内の企業・会社・商店との連携
d. 町内会不参加者の扱い

③ 各々の規約，会則の見直しと作成

- 検討項目； a. 組織の目的
b. 組織の構成



- c. 本部との繋がり の明確化
- d. 組織内の各部門の任務の明確化（平常時・注意情報発令時・災害発生時）
- e. 組織構成員の任命手段と任期の明確化
- f. 必要経費の捻出方法

(6) 非常時の活動マニュアルの作成と訓練

東海地震注意情報発令時及び東海地震予知情報並びに地震発生時の、各部門の行動規範を制定し、訓練を行う。

(7) 地域防災組織の活動

- ① 各部門（班）毎の、長、副長の決定
- ② 各部門（班）毎の、連絡網の作成
- ③ 各部門（班）毎に、任務遂行上の問題点（ハード、ソフト）の摘出と処理
- ④ 年間の活動計画の策定と実施
 - a. 各部門（班）共通問題の検討
 - 例；イ. 共通課題の勉強（非常食、防災の基本、非常持出し品、非常時連絡方法、避難所・避難場所、地域の実態把握等）
 - ロ. 防災倉庫と諸道工具の検討
 - ハ. 町内への啓発活動
 - b. 各部門（班）独自の知識・技術の習得
 - 例；消火法、要介助者の避難要領、救急法、救出法、衛生知識、避難所生活要領、非常食の種類と利用法、等

4. 自主防災組織の維持

4-1. 静岡県の例（自主防災組織：5,100組）

1,976年10月：東海地震対応を開始

1,980年：後半から危機意識の低下

1,989年4月：「地震防災センター」の設置

1,995年1月：阪神・淡路大震災発生 これを起に被害想定の見直し

4-2. 自主防災組織の活性化

- ① 自分の“やらされている”意識の脱却。自分が“自分の命を守る為に、身に付けたい”意識の高揚。
- ② 自助努力の徹底（行政より資金援助、地域での労力援助等）
- ③ 防災避難訓練は、地域の特性を活かして、内容に味付けする
- ④ 防災訓練のゲーム化（町内競争）、運動会種目への取り入れ
- ⑤ 山崩れ、地すべり、崖崩れ等のし易い場所の標示（地図だけの配布では、見ない人もいる。普段の生活の中での意識付け）

防災よもやま話 No.1 最近の国・県・市の防災施策の動向

APLA 通信の連載を始めるに当たって

名古屋大学大学院環境学研究科
福和伸夫

APLA 通信の発刊おめでとうございます。
あいち防災カレッジを通して、巡り会えた防災リーダーの皆さんは、
当地の防災に多少なりともお付き合いしている小生にとって、同志の
ような関係になります。

リーダーの会も発足して1年が経過し、いよいよ本格的に活動を開
始されると思います。

小生も、会の参与として参加させて頂くことになりました。

そこで、義務として、1ページ程度の小文を APLA 通信に連載す
るようにとの指示を頂きました。

毎号、私の分かる範囲で、周辺動向をご報告すると共に、何かのトピックスについて簡単な説
明記事を書いて行きたいと思っています。連載を始めるに当たって、メニューを考えてみました。こ
れから順に解説しようと思っているトピックスは下記のようなものです。



- | | |
|------------------------|-----------------------|
| (1) 最近の国・県・市の防災施策の動向 | (26) ボランティアは神戸から始まった |
| (2) 東海・東南海地震の驚くべき被害量 | (27) 都会生活、そのとき何が起こる |
| (3) 単純な加減乗除で分かる地震の怖さ | (28) 現代都市では過去の教訓が生きない |
| (4) 過去の教訓を学んでいるか | (29) 足元からはじめる防災対策 |
| (5) 愛知から始まった日本の防災 | (30) 私の防災対策 |
| (6) 防災に関わる法律と国の機関 | |
| (7) 平成16年度の国・県・市の防災施策 | |
| (8) 地震動予測地図って何？ | |
| (9) ナウキャスト地震情報って何？ | |
| (10) 地震予知はどういう仕組み？ | |
| (11) 揺れない建物：免震と制震 | |
| (12) 地震の勉強ができる博物館 | |
| (13) 平成17年度の国・県・市の防災対策 | |
| (14) 中央防災会議と地震調査研究推進本部 | |
| (15) 日本はどうやってできた？ | |
| (16) 繰り返す巨大地震 | |
| (17) 巨大地震の前後には内陸で直下地震 | |
| (18) 地震が作った豊かな自然と都会生活 | |
| (19) 平成18年度の国・県・市の防災対策 | |
| (20) 広小路を走ると分かる名古屋の地盤 | |
| (21) 木造建物：在来工法とツーバイフォー | |
| (22) 鉄筋コンクリートの不思議 | |
| (23) 鉄骨造の建物 | |
| (24) ブロック塀と家具の転倒防止 | |
| (25) 平成18年度の国・県・市の防災対策 | |



雰囲気はおわかり頂けましたでしょうか？ 国・県・市町村の防災施策動向、防災に関わる雑学、ちょっと科学的なお話など、ごっちゃ混ぜにして紹介していきます。今後、皆様からのご意見に応じて、順番を変えたり、別のトピックスを加えたり、柔軟に考えていきたいと思えます。1年に6回発行されるようですから、毎年度の最初には1年間の防災施策を振り返ってみます。今回は第1回ですから、今までの防災施策の動向を概説することにします。

周辺のできごとなど

新年度になり、私の周りも新人が一杯です。愛知県の防災部局の職員の方々も沢山異動されました。啓発育成 G にいた川村さんも古巣の教育委員会に異動されました。先日、移動後のお部屋を覗いてみましたが、周辺は偉い校長先生ばかり、シーンとした厳粛な雰囲気、思わず息を飲んでしまいました。川村さんも居心地悪そうでした。肩こりが酷いだろうと思えます。

さて、4月末に、小田原市にある地球博物館に行ってきました。地球の誕生から日本列島の成り立ち、地震の発生まで、実際のモノに触れながら勉強できる素晴らしい博物館でした。神奈川県立の博物館で、プロの学芸員がどんな質問にも答えてくれます。小田原駅からタクシーで千円以下です。箱根の麓です。東海3県にこのような公立博物館が無いのは残念です。聞くところでは、名古屋市科学館の建て替え計画があるとのこと。地震や防災を実感できる展示ができると良いと思えます。4月に市科学館で講演させて頂いたときに樋口館長にもお願いしました。

最近の防災施策の動向

21世紀以降の国・愛知県・名古屋市における防災施策の動向を振り返ってみます。2001年初頭に、行政改革の一環として行われた中央省庁再編と共に、我が国の防災の総本山である中央防災会議が国土庁から内閣府に移管されました。そして、その第1回中央防災会議（2001年1月26日）において、小泉首相から、「東海地震については、大規模地震対策特別措置法の成立以来四半世紀が経過しており、その間の観測体制の高密度化・高精度化や観測データの蓄積、新たな学術的知見等を踏まえて地震対策の充実強化について検討すること」と言った指示が出されました。これに基づいて、2001年3月に東海地震に関する専門調査会が設置、さらにその後、東南海・南海地震等に関する専門調査会、東海地震対策専門調査会が矢継ぎ早に設置されました。これらの調査結果を受けて、2002年4月には東海地震に対する地震防災対策強化地域の拡大が、2003年12月には東南海・南海地震に対する地震防災対策推進地域の指定が行われました。

愛知県が積極的に対応を始めたのは、東海地震の震度予測分布が公表された2001年11月以降です。12月に知事を会長とする「愛知県地震対策会議」を庁内に設置し、翌2002年1月には、「愛知県地震対策有識者懇談会」と、「愛知県東海地震・東南海地震等被害予測調査検討委員会」を設置しました。有識者懇談会では今後の県の地震対策方針としての「あいち地震対策アクションプラン」の内容を検討することを、被害予測調査委員会では2003年度末までに被害予測調査を実施し想定すべき被害数量を把握することを目的としました。その後、2月には地震防災に係わる県民の意識調査を実施して県民の備えの現状把握を行い、3月には意識啓発のために地震防災リーフレットを作成し、260万部を全戸配布しました。

さらに、4月には防災担当部署である消防防災課を組織拡充し、防災局を設置しました。4月24日に、強化地域が県下58市町村に拡大されたのを受け、10月23日に県の地震防災対策強化計画を全面改訂し、地域防災計画を抜本的に見直した。同じ時期に、強化地域指定された県下の市町村は強化計画を、特定事業者は応急計画を策定した。



11 月には有識者懇談会での議論を受けて、県が取り組むべき地震防災施策を体系化した行動計画「あいち地震対策アクションプラン」を策定し公表しています。その後、アクションプランに基づいて、様々な施策が展開されています。2003 年 5 月には、県の防災会議にて、地震被害予測調査の中間報告が行われています。秋以降には、帰宅困難者等支援対策連絡会議と基幹的広域防災拠点整備調査検討委員会を設置し、帰宅困難者問題と広域防災拠点に関する検討を始めました。さらに、2004 年 3 月には、地震対策推進条例が制定されました。

一方、名古屋市では、2002 年 12 月に名古屋駅前地区滞留者等対策検討小委員会を設置して、帰宅困難者問題の対応策を検討すると共に、2003 年度には市民の意識啓発のため 50m メッシュの地震ハザードマップ作成に着手しました。今夏には各戸配布の予定です。岡崎市でも内閣府の支援で同様の高密度のハザードマップ作成を始めたようです。他の市町村でも被害予測調査が始まりつつあり、豊橋市、日進市、田原市などが被害予測調査を実施しました。このように各地で様々な施策が展開されています。これらを実効あるものにするには我々の協力が不可欠です。

END

次号をお楽しみに！